

脳脊髄液保存方法

	測定項目	最低必要量	遠心分離	保存方法
生化学	髄液IgG	0.5ml	3000回転5分	上清を冷蔵保存
	髄液IgA			
	髄液IgM			
	髄液Na	0.2ml		
	髄液K			
	髄液Cl			
	髄液LDH			
	髄液AST			
	髄液ALT			
	髄液HTLV-1抗体	0.5ml		上清を冷蔵保存
腫瘍マーカー	NSE	0.5ml	3000回転5分	上清を凍結保存
微生物	細菌培養	1ml	不要	室温保存
細胞分析	造血器解析等			保存不可
病理	細胞診			保存不可
	墨汁染色	0.5ml	不要	冷蔵保存
外注1項目	髄液アルブミン	0.5ml	不要 (血球を認める場合は、 3000回転5分遠心後 上清を凍結保存)	凍結保存
	ADA	0.5ml		凍結保存
	ミリン塩基性蛋白	0.3ml		凍結保存
	ヒアルロン酸	0.4ml		凍結保存
	ウイルス等	各ウイルス毎に 0.5ml		凍結保存
外注2項目	血清オリゴクローナル	0.5ml	3000回転5分	上清を凍結保存
	髄液オリゴクローナル	0.5ml	不要 (血球を認める場合は、 3000回転5分遠心後 上清を凍結保存)	凍結保存
	髄液ウイルスPCR等	各ウイルス毎に 0.5ml	3000回転5分遠心後 上清を凍結保存)	凍結保存

保存された脳脊髄液は、検査バーコードラベルを貼って
平日検査にお出し下さい。
(凍結したものは、凍結したままお出し下さい)